

監査報告書

2025 年 5 月 12 日

社会福祉法人 麦
理事長 渡邊 寛 殿

監事 木全 和巳

監事 八田 邦雄

私たち監事は、2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの 2024 年度の理事の職務に執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度にかかる事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度にかかる計算書類（計算書類及びその付属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 具体的な事業内容に関する監査結果

- ① 今回も『総括と計画を分かりやすくまとめる』という点については、『2024 年度事業計画→総括』→『2025 年度事業計画』と分かりやすく整理されていて、問題なし。但し、『権利擁護及び虐待防止委員会』『感染症対策委員会』そして『BCP＝事業継続対策委員会』等、加算対象となる委員会の開催内容については、現場がどのように取り組んでいるのか、記録が求められている

ので、総括の中でも、なるべく詳しく整理していくべき。

2024 年度も一応触れられているが、来年度以降は、もっと詳しくはっきりと掲載して欲しい。

- ② 『第 2 麦の里』 建設準備が進む中で、2023 年度&2024 年度は職員数も増やし、さらに 2024 年度は新卒の利用者を 4 名受け入れ、49 名の仲間を抱えて、運営を進めてきた。

その中で、『麦の里』の基本方針について理解できない、一部の未熟な職員達を抱えてきた為、2024 年度 1 年間は、現場をまとめる主任たちにとっては、非常に負担の大きな 1 年間だった。それでも、『麦の里』の日々の支援活動の質を落とさないように、舵を取ってきた主任たちの 1 年間の努力への評価を、書き加えるとよりよくなると思う。

個々の実践内容についても、きちんと振り返りが出来ていて、昨年度の取り組みと課題が、しっかりと整理されている様子。職員みなさんの努力として高く評価できる。

法人役員を始め、現場を知らない第三者に対しても分かりやすい形で、まとめるように続けて欲しい。

- ③ 具体的な事業活動の総括としては、章立ての順に確認した。グループ別に職員間の総括をリーダーがまとめる形でよくまとめられていた。主任以外の職員の中から次のリーダーになる職員を養成する必要性を指摘した。

④ ～まとめとして～

法人監査に主任も参加し、直接主任の説明を聞くことができた。また、職員間の総括を全体の総括にまとめていく様子も確認することができた。

まとめ方に工夫は必要であるが、「麦の里」「七色の麦」が大切にしている活動の様子をより深く知ることができた。
支援の難しい仲間たちを抱えながら、今後とも頑張って欲しい。

(3) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

- ① 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表、事業活動計算書、及び資金収支計算書に金額と合致しているものと認めます。
- ② 貸借対照表、事業活動計算書及び資金収支計算書は、法令及び定款に従い法人の財産、事業活動及び資金収支の状況を正しく示しているものと認めます。
- ③ 社会福祉充実残額の算出については、「社会福祉充実残額算定シート」にて行われ、その数値に誤りがないことを計算関係書類及び財産目録にて確認しました。計算の結果、対象となる金額が存在しないので、「社会福祉充実計画」の策定が必要がないことを認めます。

以上